

小沢は民主党役員人事にあたり、『国民は選挙しか主権を行使できない』だから選挙に勝つ布陣（党役員人事）を敷いた。と、天下を睥睨するかの如く記者会見に臨んだ。小沢は持論の「二大政党論」に固執するあまり、かくも露骨に没派閥主義を暴露し、小沢派のみで党役員人事を押し切った。なぜか輿石東（こしいしあずま）と手を組んでだ。

輿石は言わずもがな『日教組』の代表組員であり山梨の親分である。2009年1月14日に行われた日教組総会で「私も日教組とともに戦っていく。永遠に日教組の組合員であるという自負を持っている」と宣言し『**教育の政治的中立はありえない**』と教育基本法第14条の中立規定を無視した暴言を露呈しているとなんでもない**狗**である。

更に輿石は2009年6月18日の記者会見で「臓器移植法案を最優先でやらなければいけないとは思っていない。**急がなければ死んでしまうというわけでもない**」と人の命を軽んじた暴言を臆面もなく吐露している人間失格の**狗**である。

なぜ小沢はこんな**狗**と手を組んでまで持論の二大政党論と『選挙論』を敷衍せんとするのか!! それは小沢が有頂天になり、血迷い、盆が見えず『ちんけ』になったからである。

そもそも小沢は『**政治**』を知っていない。国民の主権行使が『選挙』にしかないなど言語道断の『国民蔑視・国民疎外』の暴言を恣にしているが、浅ましくて涙がでる。

何度も言うが、**政治とは、国民の経済（経国済民）をより良くする実行実現なのだ。**

小沢よ、二大政党になれば『国民の経済（経国済民）はより良くなるのか』

小沢よ、二大政党になれば『国民の経済（経国済民）がより良くなる根拠は何か』

小沢よ、国民の主権行使は『選挙にしかないのか』

小沢よ、国民の主権行使は『お前達のご都合主義で作った「政党助成金」や「政治資金規正法」、馬鹿げた「選挙法／小選挙区制」に**阿**って、選挙に行く事なのか』

ふざけんな!!国民を舐めるのもいい加減にしろ!!

国民の主権は『日常生活』そのものにあるのだ!!『選挙』なんか糞食らえなんだ!!

なぜ国民の過半数に近い人達が『選挙』に行かないのか、少しは勉強しろ!!

選挙法が、政治屋達のご都合主義に出来ている以上、国民は参加しないのだ!!

畢竟、正しい選挙法は『政党選挙法』であり、且つその比例代表制である。

小選挙区制という地域代表制は、費用対効果のない無駄な公共投資／**血税**の利権温床でしかなく、現代のデジタル時代には全くそぐわない『おらが村の先生』なのだ。

国民は、政党／政策・マニフェストを選挙すればよいのだ。そういう選挙法にかえない限り、国民の選挙離れは益々深まるばかりである。国民の真情は小選挙区制度が温存されている以上『どの政党が政権をとろうが、たいした変わりはない』という感慨なのだ。

参議院選で勝って民主党単独過半数をとったら、国民新党と社民党を蹴飛ばして、民主党・小沢派だけで、やりたい放題しようとする姑息な企みをしているが、みえみえである。

日本という国体は、もともと『八百万の神々』の国であり『多神論』の国である。

二大政党論など全く意味の無い『無味乾燥』な小沢の政治形骸論である。

アメリカから学ぶべきものは『二大政党』ではなく、『資本主義』なのだ。

資本主義のメッカがアメリカである以上アメリカを学ばずして資本主義の先は読めない。

即ち、国際競争力の切磋琢磨こそ、今、日本に求められている**経済（経国済民）**の政治課題（より良いくらしの実現）なのだ。それが『政権交代』だったのだ。早々に裏切るな!!

小沢よ、今からでも遅くない! 二大政党論に固執するのはやめろ!!
あんたの悪しき言動の全ては『二大政党論』の**邪教**にあるからだ。

日本義塾 新村 紘宇二

<http://niimura.634tv.com> gijyuku@634tv.com